

公民館だより No.112

2010. 1. 15

ひがしの

東野公民館発行 恵那市東野1342-1 ☎26-2555

人口 1,855 人
(男) 900 人
(女) 955 人
世帯数 611 戸
(H21.12.1 現在)



康子

水墨画による『上高地』

楽しい墨絵の会 脇山 康子 画

寄稿

平成22年度年頭にあたって

東野振興会会長 遠藤龍美

東野住民の皆様「あけましておめでとうございます」本年もよろしくお願いいたします。

このところ政治・経済とも混乱が続いておりますが、私ども振興会役員一同、初年度の19年度は出足が遅く準備期間に遅れをなし大変でした。しかし、理事の皆さんには一生懸命に地域のために各事業に取り組んでいただき、おかげで2年目の今年度は何とか進んでいっているように思います。これも東野住民の皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。私ども役員はあと1年余りの任期となりましたが、これらが一番大切な時期になると思っております。先人が残してこられた歴史ある東野です。大切な財産と宝物を守り育て後世に伝えていくと共に、安心・安全で明るい地域改革に取り組んでまいります。今後の改革にあたって改めてご理解とご協力をお願いいたします。

今年度は17年度より懸案であった「袖畑・笠作線、清水・山ノ手線」の改修工事があります。地権者の方、幹線住民のご賛同をいただき、21年末には測量に入り図面ができる見通しとなりました。これは東野にとっても大事業であり東野全体の問題として取り組まなくてはなりません。よろしくお願いいたします。また、22年度も東野の3大行事である「夏祭り」、「住民運動会」、「文化祭」をはじめ、その他数々の催しが開催されます。せっかくの人と人との交流の場です。一人でも多くのご参加をお願いしたいものです。今後とも住民の一人ひとりが未来に向かって明るく健康で仲の良い、住んでいて良かったと思える東野づくりに関心を持っていただければ、必ずすばらしい東野になると確信しております。

最後になりましたが東野住民の皆さんにとって健やかな1年であります事を心よりお祈り申し上げ、簡単ではありますが新年のご挨拶といたします。

平成21年 東野の5大ニュースを紹介します。

公民館では「東野の5大ニュース」欄で1年を振り返る取り組みをしています。楽しかった事、残念だった事、あっと驚いた事など東野の歴史に残したい(?)平成21年の出来事を各機関・団体や来館者に意見を伺いながら5点を選んでみました。

1 新型インフルエンザが流行

東中学校で学級閉鎖。感染防止に配慮して「東野住民ふれあい体育祭」が中止。引き続き小学校で学級閉鎖。「東野ふれあい音楽祭」は延期となりました。11月には幼稚園でも感染者が出て休園。ワクチンの量が足らず摂取に順位がつけられるなど社会的な大問題になっています。

2 公民館空調設備を改修

古くなった空調設備が新しくなりました。9月から始まった改修工事が11月末に終了。12月からガスによる空調設備に切り替わり快適になりました。また、全館のカーテンをクリーニングし、館内が一段と明るくなりました。利用者に喜ばれています。

3 東野地内に熊が出没

夏から秋にかけて浜井場、向島地内に熊が出没しました。東野地内での熊の出没は久しぶり。特に向島地内に出没した際には、警察官が地内を巡回して注意を呼びかけ、テレビの取材が張り付き騒ぎになりました。小学校では子どもの登下校に保護者の同伴を呼びかけました。

4 地域協議会委員改選

市内の各地域に「地域協議会」が設立され安全・安心の町づくりがすすめられています。平成21年度は委員の改選の年。新たに23名の委員(任期2年)が改選されました。「東野の将来」についてさまざまな提案と取り組みがなされていきます。

5 浄水施設起工(小野川地内)

小野川地内で飲料水の供給施設整備事業が進んでいます。小野川の鉄橋をくくって数百メートル行った左側の斜面に金色に輝く貯水タンクが見えてきました。これが上水道供給施設です。

勤労感謝の日 あれこれ



東野開墾記念碑（上の平）で 豊受大神祭典執り行われる

「餅ひろい」に歓声

平成21年11月23日（祝）の勤労感謝の日に東野上の平にある東野開墾記念碑で秋の豊穰に感謝して祭典ともち投げが行われました。この祭典にたくさんの方々が集まり餅ひろいに歓声を上げていました。大正10年、東野耕地整理組合が設立され、保古の湖の工事と開墾事業が35万円の拒否を投じてすすめられました。15カ年の歳月の後昭和10年に新田百余町歩が拓かれました。この開墾事業を永遠に後世に伝え、東野のますますの繁栄を祈願して、昭和24年9月、当時の東野青年団の発案でこの記念碑が建立されました。

東野公民館で お楽しみ演芸会

主催 恵那市社会福祉協議会東野支部

協賛 東野民生児童委員協議会

協力 虹の会



司やさばの煮ものなどを食べながらおしゃべりを楽しみました。

午後からは講談師の神田昌味さんによる講談「赤穂浪士伝」で生の講談の醍醐味をたっぷり味わい、ワイワイガヤガヤと笑いの絶えない楽しい会になりました。



11月23日東野公民館で行われたお楽しみ演芸会に70名余りの高齢者が集まりました。「福祉の話」を聞き、その後ビンゴゲームで豪華商品の獲得に熱中。虹の会の皆さんに作っていただいた散らし寿司をいただきました。

文芸

花無山十二月句会

粕汁や三日三晩の膳につく 市川茶山
冠雪の恵那山望む好きな部屋 市川芳子
日向ぼこ今昔語れぬ侘びしとす 西尾美恵子
冬の雲何かの形流れゆく 土方ちかえ
煤払い作務衆挑む大天井 松本はるか
賞品に新巻一本ゴルフ会 千藤恵三

サークル短歌（十二月詠草）

鈴木喜一郎

アカシアの青葉も果てて秋となり

幻に見る赤いハンカチ

喉もとの毛二、三本剃り残す

友来て去りぬ吾も老いつつ

市川茂子

明け方の流星群を見てみよう

その願いさえ叶わずにいる

カルメラの甘い香りに誘われて

桂の林にその葉を拾う

赤尾繁夫

君ら来て赤い実散策ツルリンドウ

ノイバラガマズミサルトリイバラ

道みちに採り来し木の葉並べおり

習いとなりてルート反省

春を待つ

「パンジー」と「芝桜」

昨年暮れに東雲会が植えつけ

東雲会では毎年6月と11月の2回、東野地内の3箇所を花を植えています。

昨年の11月中旬に植えたパンジーや芝桜が今は寒さの中でじつと力を蓄え、暖かな春を待っています。花は私たちの心を清らかにしてくれます。そんな花を育ててくださる東雲会の皆さんありがとうございます。



（平成21年11月中旬植え付け作業風景）
パンジーと芝桜の苗およそ600株を植えつけました。上：公文橋付近 右下：桐山齒科東



「パンジー」豆知識

花を咲かせ種をつけることは植物にとつては重労働で環境がよい時には無理に花を咲かせません。不良環境になると感じた植物は子孫を残そうと花を咲かせます。パンジーは夏の暑さが嫌い。寒い冬（低温）の後に春（長日条件）が来る。その後、嫌いな夏が来る。だからパンジーは低温に当たって長日条件で花を咲かせます。パンジーはスミレ科スミレ属に属し世界の温帯に400種類以上が分布しています。育種の歴史は17世紀には野生種を園芸的に栽培していたことが記録に残っています。ちなみに「パンジー」という名前はパンセ（考える）というフランス語から、また交雑種であるパンジーの学名は *Viola x wittrockiana* です。これは、スエーデンのビオラ学者 wittrock 氏にちなんで名づけられました。



東野小学校5年生20人

「枝打ち」、「間伐」作業を体験

11月25日（水）

5年生の20人が、11月25日（水）花無山地内で「枝打ち」と「間伐」体験で山を守る大切さを学びました。子どもたちは役員から指導を受け、慣れない手つきでノコギリを使



い、木を切り倒しました。「力のいる作業で大変でしたが楽しい体験ができました」。ありがとうございます。と口をそろえて話していました。

《東野の山林》明治13年、洞沢の2ヘクタールに杉苗を植えたのがはじまりで、15年にもやはり洞沢の8ヘクタールに杉苗を植えた。この積み重ねの成果が、全国に誇る山林王国東野を築き上げることとなった。

(恵那市史より)

蛍の里づくり

常蓮寺川の葦刈り作業

12月5日

(土) 定蓮寺

川の葦刈り作業が行われました。東野青少年育成会議が主催したもので、運営委員と推進委員16名余が参加し、蛍が生息するきれいな川の保全に汗をかきました。3月には東野小学校の児童と青少年育成会議役員が、蛍の幼虫のえさとなるカワニナを放流する予定です。6月の蛍祭りが今から楽しみです。今後とも皆様のご協力をよろしくお願いします。



12月26日 夜10時35分

恵那消防団年末夜警巡視出陣式

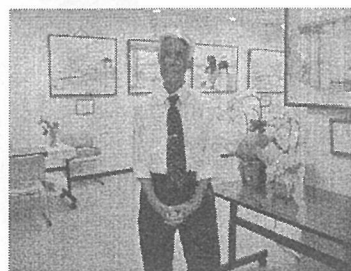
東野公民館前

平成21年度の年度末、消防団による夜警巡視が行われました。その出陣式が東野公民館駐車場で、消防団員、まとい会ならびに各機関の代表が出席しました。また、水野県議会議員、恵那市教育長、恵那警察次長、恵那消防署本部職員などから激励の言葉をいただきました。最後に東野を代表して光岡市議員から「年末特別警戒をしていただくことが恵那市民の安全・安心を守る事になります。皆さんが年末警戒をしていただくことで、市民が安心して年の瀬を越し、新しい年を迎えることができます。寒い中ではありますが、体には十分留意され警戒をしていただきますようお願いいたします。」と挨拶がありました。消防団員は12月26日から30日までの毎日、深夜から午前4時まで夜警をしていただきました。とうございました。

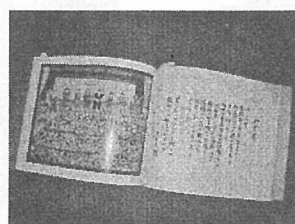


長谷川三千夫さん

詩歌集「追憶」を出版



昨年の9月、恵那市文化センターの展示室において長谷川三千夫さんの始めての本格的な個展、「八十一歳の素朴画展」が開かれました。その個展で展示した画を集めた画集がこの度出版されました。画集の中で長谷川さんは「幼い頃から絵が好きでいろいろな絵を描きながら試行錯誤してきたが、素朴画を描くようになって、自分の絵を見て喜び、共感してくれる人が大勢できた。ようやく、素朴画と言う、自分らしい絵の世界が構築できたと思う。それが嬉しい。」と述べられています。



春

春は 万物の命が 萌え出すとき
雪を割って 芽を出した フキノトウ
紅梅の蕾が 一輪咲いて
やがて桜が咲き 花見の宴
新しいかばんを背負った 子供達が
元気に 駆けていきます

詩 長谷川三千夫

ふるさと作品展始まる

力作が一同に展示

東野公民館一階ロビー

小学生、中学生の作品

東野青少年育成会議が主催した「東野ふるさと作品展（書初め展）」が1月10日から1月22日まで東野公民館で開かれています。東野小学校の児童全員の作品に加え、東野在住の中学生の書初め作品が展示されています。テーマは、中学生が新年の決意やふるさとへの思いを表す四字熟語。小学生は東野が誇れるものや後世に伝えたい願いなど学年ごとに異なりますが、いずれも力作ばかりです。ぜひ子どもたちの作品をご覧ください。



安全・安心を呼びかけ

新たに看板が設置されました

東野駅踏み切り脇に安全・安心まちづくりの呼びかけ看板が新たに設置されました。

「子どもが見てるよ 大人のマナー」
「声をかけ 地域で守ろう 登下校」

いずれも地域住民による呼びかけ標語です。この他にも、東野地内には青少年育成会議と東野まちづくり委員会、PTAによる看板が10箇所以上に設置されています。

住民の願いがこめられた看板ばかりです。さて、どこに建っているでしょう？



東野体協コーナー

東野体協発行

あけましておめでとうございます。

平成21年度の東野体育協会の行事は、東野住民の皆様のご協力をいただき、すべての行事が無事終わることができました。今後とも行事へのご参加やご協力などご支援を賜りますようお願い申し上げます。また、当協会へのご意見やご提案もいただきたく存じております。

さて、本年度の体協の活動振り返ってみると、本年度は屋外行事が天候不順で二つ、市民陸上大会とフットベースボール大会が中止となつてしまい、大変残念なこととなつてしまいました。そのほかの行事は競技も回数を重ね、競技の運営や競技ルールなどに参加者の戸惑いなどなくスムーズに進行することができました。一方で各競技の参加者数の伸び悩みと分団による参加者数の較差がありました。しかし、そんな中でも昨年より大幅に参加者を増やした分団もありました。が、あらためて参加方法や競技種目数など無理のない運営に心がけていくことが必要であると感じております。

平成21年度東野体育協会行事報告

○第36回東野住民ソフトボール大会

優勝2分団 5分団合同チーム、準優勝1分団 6分団合同チーム、2位6分団7分団合同チーム、3位3分団上4分団合同チーム、4位2分団3分団合同チーム

○第20回東野住民インディアカ大会

優勝5分団、準優勝3分団上、7分団、4位2分団、5位3分団下、6位6分団、7位1分団、棄権4分団

○第13回東野住民マレットゴルフ大会

団体の部 優勝3分団上、準優勝6分団、3位5分団、4位1分団、5位4分団、6位2分団、7位7分団、棄権3分団下

個人の部 優勝鈴木政代（6分団）、準優勝永野晋（3分団上）、3位長谷川末治（3分団上）

○第21回東野住民レクリエーションバレーボール大会

優勝5分団上、準優勝3分団上、3位7分団、4位3分団下、5位2分団、6分団、7位4分団、1分団

○第5回東野住民フットベースボール大会

雨天中止

◎総合成績

優勝5分団、準優勝3分団上、3位7分団、4位6分団、5位2分団、6位3分団下、7位1分団、8位4分団

◆お知らせ

恵那市体育連盟から講演会と講習会の案内がありましたので、興味のある方はご参加ください。問い合わせ先は、恵那市体育連盟（TEL 25-6478）まで。

○恵那市スポーツ講演会

日時 平成22年1月23日（土）午後1時30分から

場所 恵那文化センター集会室

講師 福島大学人間発達文化学類教授 白石豊氏

授 白石豊氏

基礎ひのきつこゆうゆうクラブ事務局長 辺見元孝氏

○平成21年度恵那市スポーツ指導者養成講習会

日時

平成22年2月3日から3月10日までの毎週水曜日午後1時30分から午後9時まで

場所 まきがね公園体育館会議室

定員 30名程度

定員 30名程度

お知らせ

◆青少年健全育成を推進する標語看板◆

恵那市内の13地区に標語の看板を社会教育課が設置します。東野の関係児童、生徒の入選と佳作に選ばれた標語作品は次のとおりです。

看板は公民館敷地内に設置する予定です。

【小学校】

- ・あいさつで なかよくくらす まちぜんぶ
(小6 林 友貴 くん)
- ・おはようと えがおでてをふる やさしいなかま
(小6 長谷川 真理 さん)

【中学校】

- ・あいさつで 深めていこう 地域のキズナ
(中2 渡辺 沙枝 さん)
- ・ありがとう その一言で あったまる
(中1 伊藤 京太 くん)



■ 休館日 <変更の場合があります>

- 1月 (1、2、3、4、12、13、18、25)
- 2月 (1、8、12、15、22)
- 3月 (1、8、15、23、24、29)

◆ かるたとり大会 ◆

東野小学校児童によるかるたとり大会が1月15日、東野公民館で開催されました。1年生から6年生まで全員が参加。その様子を先生や保護者が参観しました。4年生以上の上位の子どもが市子連(恵那市子ども会連合会)のかるたとり大会に出場します。



○ 空調設備が完成しました ○

昨年の9月から行われていた公民館の空調設備工事が終わり、12月から新しい空調設備が稼動しています。あわせて公民館の玄関ロビーの天井壁紙が張り替えられ、また照明設備も新しくなって大変明るくなりました。快適に公民館の利用がしていただけることと喜んでいきます。

○ 公民館のカーテンがきれいになりました ○

昨年末、公民館の各部屋のカーテンをクリーニングしました。おかげで部屋が明るくなりました。

編集後記

日本には古くから正月に豊かな収穫と幸福をもたらす年神(としがみ)様が高いところから降りてくるという信仰がある。そのため、常緑樹を家の門口に立てて年神様の降臨をねがい幸福を願った。それが門松である。▲ところで過ぎて正月によくやった遊びがある。「すごろく」、「はねつき」、「凧揚げ」、みんな楽しい思い出。炬燵に入ってみかんを食べながらの家族の団欒。「みかんつり」など今ではなくなつたが、久しぶりにやってみた。「昔はこんな風にやつた。いやいや違う。ああでもない、こうでもない。」などと話がはずみ子どものころが懐かしい。▲私が育つた子ども時代は決して物質的には豊かではなかった。それでも一生懸命やつていればきつと豊かになれる。そんな思いで皆が生きてきた。あれから数十年、確かに物質的には豊かになったが大切なものを忘れてきたような気がする。「物質的な豊かさよりも心の豊かさを大切に」と言われて久しい。今は不況の底にあるが、過って急速な経済成長の中で忘れてしまった大切なものを今こそとり戻したい。▲新しい年を迎えた今、昔の行事や人々の暮らしに思いを寄せることもその一つかもしれない。今年は遠くなった昔の忘れ物を探す一年にしてはどうだろうか。きつと「心の豊かさ」はそんなところから生まれるのかもしれない。

東野公民館長